



- ・国の施策と地域をつなぐ
- ・「共創」という考え方
- ・交通と生活

仕事の紹介

(国の施策と地域をつなぐ)

地域の交通をいかに持続可能なものとしていくか。これは全国的な課題であり、国交省では各地の取組を支援するため、計画制度や予算事業など様々な施策を設けています。

この支援策や独自調査事業の中で、国の施策の考え方を地域と共有しつつ、先進事例なども踏まえながら、沖縄の課題に即した事業造成や計画策定を目指して、自治体や事業者をサポートしていくことが私たちの仕事です。

(「共創」という考え方)

人材や資金に限られる中、交通単独で持続するのは難しい状況であり、今後は交通事業者間連携はもとより、医療・教育や、商業などの他産業と交通事業を共に創出することで持続性を高めていくことが重要です。企画室では事業者間の連携の架け橋を担い、沖縄で新たな「共創」が生まれるよう取り組んでいます。

(交通と生活)

交通は住民の生活にも影響します。沖縄の人々が望む暮らし方はどのようなものか、その実現に必要な交通とはどのようなものか、今年度の調査事業では対話を通じて、住民が望む生活の形から、必要な交通を描き出す手法を検討していきます。



沖縄県での取り組み事例

～説明会や勉強会の開催～



(法改正説明会)



(交通政策ワークショップ)

～独自調査事業～



R4年度は経済的観点から公共交通利用を促進するため、那覇周辺での車通勤とバス通勤のコストを比較する簡易ツールを作成しました。

Message



土木の力はデザインしていく力だと思えます。交通・都市政策を一体とする考えが浸透しつつある今後は、線(交通)と面(まち)のデザインによって、住まう人の生活の仕方をもデザインしていく大きな役割が土木のノウハウを持つ人材に期待されており、企画業務はまさにそうした人材の活躍の場です。

ぜひ、沖縄の人々の暮らし方をより魅力的なものとするべく、土木のノウハウを磨いてみませんか。

村上 隼

早稲田大学卒 / 国交省採用